

	寄附使途区分	事業名	事業紹介	
1	ふるさとの自然環境および景観の保全・活用	環境保全費	未来のために美しい地球、ふるさとの自然環境を守ることが私たちの責任であると考え、安来市地球温暖化対策地域協議会と連携し、温暖化対策の普及啓発に積極的に取り組みました。具体的には、幼保施設での木育活動、小学校の環境活動支援、環境イラストコンテストなどを継続実施し、子どもたちの環境意識を高めてきました。特に令和6年度は、高校生と連携してSDGsについて学べるすごろくを製作したり、大学生と連携して二酸化炭素削減に貢献するバイオ炭の理解促進イベントを実施したりしました。 これからも、未来を担う子どもたちへ環境教育を推進し、市民一人ひとりが自分たちにできることを考え、行動するきっかけを提供していきます。	 
		農業振興費	安来農林振興協議会の中で構成される様々な部会の中で各種事業を行った。	
2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	小児予防接種事業費	予防接種法に基づき定期接種を実施することで、乳幼児期から学童期にかけて感染症の発生・蔓延を予防し、子どもの健全な育成に資する。	
		私立保育園等運営費	安来市は、県内屈指の米どころとして有名で、良質な水と豊かな自然で育まれたおいしいお米を生産しています。 このおいしい安来市産のお米を使ってつくられているのが金芽米。お米の亜糊粉層(うまみ層)と金芽(胚芽)を残す特別な精米でうまみと栄養価が豊富なことが特長です。 令和6年度から金芽米を保育施設の給食で無償で提供しています。子どもの健やかな成長を支援するとともに保護者の経済的負担の軽減し、子育ての一助となっています。	
		放課後児童健全育成事業費	核家族や共働き家庭の増加、地域の繋がりの希薄化などを背景に、「こどもの居場所づくり」が強く求められています。 そのための取り組みのひとつとして、放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)では、保護者が就労等で家庭にいない小学生が、放課後や長期休業時に、安全安心に過ごせる生活と遊びの場を提供しています。 現在、各地域のご協力のもと、公設、民設併せて17のクラブを開設し、安来の子供達らの健やかな成長を支えています。	
		学校給食管理費	本事業は、給食配膳員報酬の支出及び学校給食に必要な消耗品費の支出、学校給食に必要な牛乳保冷庫、配膳ワゴン、配膳台の更新、修繕、検査等を実施する。 令和7年度から給食配膳員業務がスクールサポートスタッフの業務に集約されるため、報酬の支出はなくなるが、引き続き学校給食に必要な消耗品の支出及び備品の管理を行っていく。	
		教育支援センター運営事業費	センター長1名、相談員及び支援員11名を配置し、心理的・情緒的な要因により、不登校や集団に適應できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなろ』を運営しています。 今後も保護者や教職員を含めた教育相談、児童生徒一人一人の状況に合わせた学習活動などの個別支援や少人数集団でのさまざまな体験活動を通じた支援を行い、児童生徒の居場所の確保や社会的自立への援助を続けていきます。	

2	子どもの健全育成・ふるさと教育の推進	学校図書館活性化事業費	市内全小中学校の学校図書館に学校司書を配置し、図書の紹介や読書指導を行うほか、授業の中では図書館を活用した調べ学習などに取り組んでいます。また、学校司書は年に複数回の研修に参加し、学校図書館機能の向上を図っています。 各学校では、図書管理システムを活用して図書の貸出を行い、児童生徒の読書傾向が興味のある分野のみにならないよう、幅広い分野の図書の紹介を行っているほか、ブックトークや読み聞かせを通じて児童生徒の読む力を育てるための支援をしています。	
		ICT教育推進事業費	教育用タブレット端末や大型提示装置を市内全ての小中学校に配置し、授業や学校行事で活用しています。子どもたちはデジタル教科書や協働学習アプリケーション、プログラミング教材を利用し、相互に関わり合いながら学びを深めています。 今後もＩＣＴを活用した「情報活用能力の育成」や「学びを深める授業」を目指し、利活用を進めていきます。	
		ふるさと教育推進事業費	市内小中学校の全児童・生徒を対象に、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を行っています。 9年間の系統的・発展的な教育活動を通じて、子どもたちの地域への愛着・誇り、貢献意欲、実行力等を高めることを目指しています。 地域の教育資源を最大限に活用した教育活動を展開し、様々な世代が関わり合いながら子どもたちの学びを支える環境づくりを進めるために、これからも学校・家庭・地域が相互理解のもとで連携・協働した取り組みを進めていきます。	
		小学校教育振興費	教科書の改訂にともない、市内小学校に指導書を購入しました。国語や算数などについては、指導者用のデジタル教科書を活用した授業で、デジタル教科書を大型の提示装置に投影し、動画等を用いて分かりやすく説明をすることができるようになりました。このような授業内容の視覚化により、児童の学習内容の理解を支援しています。	
3	地域医療・福祉の充実	保健体育総務費	安来市のスポーツ及びレクリエーションの啓発・指導及び奨励や各種大会・講習会の実施及び支援等を達成するため、年間通して事業を展開した。また、スポーツ少年団や各種競技団体の活動を支援した。	
		社会福祉支援事業費	安来市の南部地域においては、訪問介護事業所がなく訪問介護のサービス提供体制が充分とは言えない状況であったことから、令和6年度に市内南部地域における訪問介護事業所の開設及び経営安定までの初期費用を支援する補助制度を創設しました。 本事業を活用して、令和7年3月1日に伯太町井尻地区において、訪問介護事業所が新たに開設されました。また、広瀬町布部地区においても令和7年度中の開設に向け準備を進められています。 今後も在宅介護サービスの提供体制の充実を図り、住み慣れた地域で安心して住み続けられる環境の整備を行って参ります。	
		福祉医療費	重度の障がいのある方、ひとり親家庭の医療費を助成することで、疾病の早期発見と早期治療に努めるとともに、医療費負担の軽減を図り、地域医療・福祉を充実させている。	

4	指定しない	企業立地推進事業	産業の振興と雇用の促進を図ることを目的とし、市内に施設を新設又は増設する企業に対し、奨励金を交付した。 令和6年度実績 立地奨励金 2件（製造業） 雇用奨励金 1件（製造業） 家賃助成金 1件（ソフト産業）※交付見込含む これにより、市内産業の高度化と雇用の増大が図られ、定住に寄与されるものである。 今後も奨励金制度の周知に努めつつ、企業誘致等のインセンティブとしたい。	  
		商工業振興費	「やすぎ刃物まつり」は、刃物を題材に、安来と鋼との関わり、育んできた歴史と文化を見つめ直す事業として、有名産地の刃物展示販売をはじめ様々なイベントを以下のとおり開催した。 ○開催日：令和6年10月5日、6日 ○開催場所：和鋼博物館周辺 ○主なイベント：全国刃物展示・即売、アウトドアナイフショー、包丁研ぎ、手作りナイフ教室、ペーパーナイフ作り体験、昭和の車の展示会、ステージイベント等 ○来場者数：延べ18,000人 北は北海道からの来場者もあり、ご家族から職人の方々まで多くの方の来場があり、今後も、安来市における一大イベントとして大きな賑わいを創出していきたい。	
		母子保健事業費	安来市は、東洋ライス株式会社及び島根県農業協同組合と連携し、特別な精米で、ビタミンやミネラル、食物繊維など栄養価を多く含む金芽米（きんめまい）を、希望される妊婦及び産婦（出産した子どもが1歳になるまで）の方に対して無償で提供する「マタニティ応援プロジェクト」を実施し、妊産婦の健康づくりと胎児の健やかな成長を支援している。	
		畜産業費	各種補助メニューにより優良牛の保留・導入・改良を促進させるとともに生産団体の活動を支援することで「やすぎ和牛」等のブランド化を図った。	
5	クラウドファンディング型ふるさと納税	空家等対策事業費	空き家対策の一環として「住まいの引き継ぎノート」を13,000部作成し、市報配布にあわせて各家庭へ配布した。 空き家となる前から家族で所有する建物の将来を相談するためのツールとして活用いただき、建物を引き継ぐ時の負担軽減となるよう、周知を行い空き家増加の抑制につなげたい。	
		観光振興費	やすぎ月の輪まつりは、月の輪神事を核とした祭りで、安来の夏の風物詩となっている。令和6年度は花火大会を8月11日、月の輪神事を8月14日から17日に実施し、月の輪神事を盛り上げるためのステージイベントを8月14日に開催した。花火大会とステージイベントでは22,000人の観客動員があった。 今後も、地域一体となって盛り上がる月の輪まつりとなるよう取り組みます。	